

小平市議会議員
日向みさ子

一般質問

都市農業とグリーンロードを軸とした
緑コミュニティを

小平にある農地や樹林、公園を緑地としてだけでなくコミュニティとしてまちづくりに位置付けることを求めました。市民同士の交流や農業への理解の場となる体験農園の拡充や地場野菜販売に市民が参加できるしくみづくりの提案が一例です。

また、市内には利用者のない小規模公園が数多くあり、近隣住民による参加協働型でミニ菜園のような形でパブリック・スペースとして再生することを提案し、前向きな答弁を得ました。

公共施設の建て替え試算は
今後 20 年間で 400 億円以上！

小平市は地域センターや公民館、図書館など多くの公共施設をもっています。学校を含めて建物の老朽化にかかる建て替え費用は、今後 20 年以内に 424 億円という試算であることがわかりました。超高齢・少子化、人口減少時代を見据えると財政的には限界があり、「ハードは縮小、ソフトは拡充」という厳しい現実が立ちまわっています。

市は公共施設データ集を作成済みですが、今後の計画策定に際しては、複合施設や施設活用の転換など縦割りを超えた柔軟な発想でのアイデアが不可欠であり、市民参加を強く求めました。(件名:市内の公共施設の有効活用と将来展望について)



老朽化のため今年度から2年かけて建て替えられる予定の市立小川西保育園

小平市議会議員
岩本ひろ子

一般質問

暮らしと福祉をつなぐまちづくりと
空き家等の活用について

増加している空き家を社会資源として活用する動きがでています。豊島区では空きマンションをシングルマザー向け住宅として提供しています。小平市での活用を提案しました。市では空き店舗の活用は考えているようでしたが、空き家は担当の部署もなく活用の視点はまったくありません。

昨年、アパートの空き部屋を提供してくれた人がいたことから、鷹の台駅近くに市民のボランティアによる多世代の交流の場がスタートしました。こうした地域の居場所づくりを広げるためにも、空き家をまちづくりに活用できるしくみが必要です。

未然防止の視点から身の回りの
化学物質を減らす対策を進めよう

化学物質は、健康や生態系への影響などリスクもあり不必要なものは減らしていくべきです。学校や保育園での手洗い用の石けんは、これまでの働きかけの成果で無添加のものにしていくとの答弁を得ました。

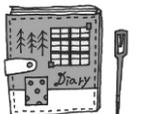
市の環境基本計画には化学物質による環境リスクを低減するための取組みを推進していくとあり、環境部のリーダーシップで市全体に浸透させることが必要です。答弁にあった庁内での情報共有の場をつくるだけでなく、小学校給食で定着した「合成洗剤を使わない姿勢」や「化学調味料や添加物不使用を使わない方針」が今後も徹底されるよう根拠となる指針づくりを求めました。



地域センターの湯沸かし室に置かれた洗剤。これまでの働きかけで合成洗剤ではなく石けん成分のものになっています。

- | | |
|-------|--------------------------------------|
| 27 日火 | 地域包括支援センターヒヤリング(小川ホーム) |
| 26 日月 | 駅前活動報告(小川駅)、地域協議会 |
| 25 日金 | 小平市総合防災訓練(上宿小学校) |
| 23 日金 | 幹事長会議
小平ネット運営委員会 |
| 22 日木 | 建設委員会(傍聴)
こだいらDV防止ネットワーク |
| 21 日水 | 厚生委員会
東京ネット議員連絡会 |
| 20 日火 | 朝駅頭(小平駅南口)
生活文教委員会 |
| 19 日月 | 総務委員会 |
| 18 日金 | 3市資源化施設説明会(東大和) |
| 17 日水 | 3市「み連絡会」の懇談 |
| 16 日火 | 3市「み連絡会」の懇談 |
| 15 日月 | 駅前活動報告(鷹の台駅)
3・2・8号線住民投票学習会(武蔵野市) |
| 14 日金 | 金曜サロン(居場所づくり、板垣さん) |
| 13 日木 | 小平ネット運営委員会 |
| 12 日水 | 子ども8幸せ円卓会議(こだいら) |
| 11 日火 | 駅前活動報告(一橋学園駅) |
| 10 日水 | 駅前活動報告(一橋学園駅) |
| 9 日金 | 野火止用水通常総代会 |
| 8 日木 | 九小防災体験&みんなでカレー
ハーグ条約学習会 |
| 7 日水 | 小村大組協議会・全員協議会 |
| 6 日火 | 駅前活動報告(小平駅北口) |
| 5 日月 | 駅前活動報告(小平駅北口) |
| 4 日金 | 3市資源化施設説明会(東大和) |
| 3 日木 | 地域包括支援センターヒヤリング(多摩清生) |
| 2 日水 | 生活者ネット 議員とつしよに話す会
灯りまつり |
| 1 日火 | 3・4・23号線説明会 |

ネット議員の活動日誌



小平市議会議員
平野ひろみ

トピックス

高齢になっても在宅で暮らし続けるために

～「要支援者に対する介護サービスの継続とそれに伴う財源確保を求める意見書」を生活者ネットワークから提案

8月6日、社会保障制度改革国民会議は消費増税にあわせて実施する社会保障改革案の報告書を国に提出しました。その中で介護保険制度の要支援者を対象とした予防給付事業は、段階的に自治体を実施する「地域包括推進事業(仮称)」に移行していくと提案しています。

介護保険認定の要支援 1・2 の方たちは、介護の認定を受けた対象者です。例えば認知症についていえば、介護・生活援助サービスや家族支援が適切に専門性をもって提供されなければならず、介護予防事業についての検証と十分な議論が必要です。要介護状態にある人に対し、必要な保険給付を行い、保健医療・福祉サービスを確実に実施していくことは当然であり、社会全体で介護を支えていかなければなりません。

生活者ネットワークが提案した意見書が全会一致で可決し、国へ意見書提出されます。



* 意見書の文面はホームページで見ることができます。
<http://hirano.seikatsusha.me/blog/2013/10/06/3635/>

これからの公園整備について

～身近な緑の空間を市民自らの管理運営や広場としての公園づくりを目指そう

市では 2009 年度から公園いきいきリニューアル事業で公園整備をすすめています。近隣住民や利用者からのアンケートや説明会などを実施し市民意見を聴きながら整備していますが、ワークショップなどをとりいれていくことも大切と訴えました。小金井市梶野公園を例に、市が補助金を出し市民グループが管理運営するような市民協働型の公園づくりについても要望しました。防災トイレやかまどベンチなど防災機能を備えた公園が4か所あるので地域の防災訓練時には活用して周知していくよう要望したところ、機会があれば実施し説明していくとの答弁をえました。



小川1丁目区画整理区域内のきつねつばら公園にあるかまどスツール(左)とせきせい公園にあるかまどベンチ(右)。

他に、花小金井ふれあい第1公園には防災トイレが設置されています。テントと便座を設置すると災害トイレになるマンホールもあります。

スクールソーシャルワーカーの活用をすすめよう

今年度から小・中学校、高校、特別支援学校に全校配置されたスクールカウンセラーが子どもの心のケア中心なのに対し、スクールソーシャルワーカー (SSW) は子どもを取り巻く環境に働きかける福祉の専門家です。小平は学校配置型で中学校6校で取り組んでおり中学校全校配置を目指しています。学区内の小学校にも関わりケースを受け持つ体制を目指しています。SSWが地域で顔の見える関係を築くために、職員の継続性や健康福祉部の積極的なバックアップ体制を求めました。

- 29 日木 地域包括支援センターヒヤリング(けきの郷)
- 30 日金 ハタラボ・オープニング
小村大組会議会・臨時議会
- 31 日土 もがれた翼(アーマー：いじめ)上演会
- 9月
- 1 日日 政治の使い方連続講座 第1回
- 2 日月 9月定例議会初日
- 3 日火 9月定例議会代表質問
- 4 日水 9月定例議会一般質問
- 7 日土 環境フェスティバル
奨励学級 市民参加のまちづくり
- 10 日火 総務委員会
- 11 日水 生活文教委員会
- 12 日木 厚生委員会、高齢者福祉大会
- 13 日金 建設委員会傍聴
議会基本条例全議員説明会
- 14 日土 商工会「たいらサミット」
NOI「寝たきりデー2013」
- 17 日火 まちづくり調査特別委員会
- 18 日水 議会改革調査特別委員会
- 19 日木 幹事長会議
金曜サロン(気功法・平野さん)
- 20 日金 議会運営委員会
ひこと提案現地調査(玉川上水)
- 21 日土 障がい者運動会
- 24 日火 地域包括支援センターヒヤリング(健成苑)
小平ネット連帯委員会
- 26 日木 9月定例議会(最終日)
- 27 日金 ITC同好研究会市議会有志
- 28 日土 政治の使い方連続講座 第2回
- 29 日日 一小運動会、六小運動会 国体
国際交流協フェスティバル
- 10月
- 2 日水 小平市地区まちづくりフォーラム
- 3 日木 コミュニティサロン訪問
- 8 日火 議会改革推進特別委員会
七小運動会
多摩若者サポーターセッション視察

※掲載したのは活動の一部です。これ以外にもヒヤリングや調査相談など随時それぞれに活動しています。